

調布教会 教会学校 週報

2026年度 みことば

「主を喜びとすることこそ、あなたがたの力であるからだ。」ネヘミヤ記 8章10節c



テーマ 「 神様と仲良くなろう 」

教会学校礼拝プログラム

2026年 6月14日

前奏 賛美

「輝く日を仰ぐとき」 賛美歌 21-226

お祈り

天の愛するお父さん、あなたが私と共にいることを、どのようにして知ることができるでしょうか。私が見て、聞いて、触れたことについて、あなたを捜し求めることによってです。あなたは、いろいろな人の姿をして、また、いろいろな出来事の中で、私に語られます。私は、その一つ一つの言葉を集め、日ごとの糧として蓄えます。こうして、あなたの子となりますように。アーメン。

聖書

詩編 148編 旧約聖書 p. 970

交読詩編

交読詩編 (11) 詩編 85より p. 205

説教

「 苦菜を添えて食べなさい 」

私たちは今、礼拝を献げています。礼拝の中では、祈りを献げ、歌や音楽を献げ、献金をします。また、主の安息日を守るために、あなたは時間を献げ、教会に足を運ぶ労力を献げ、何より意志をもって取り組む心を献げています。あなたは、神を愛しています。

本日は、『旧約聖書』で献げられていた、いけにえに思いを寄せて、人々が律法に従って献げていたものについて、心を留めていきます。そしてそこから、どのようにして神は、サタンからの誘惑を退けられるのか、「出エジプト」の出来事についても触れていきます。いけにえの理解は、神へ献げるあなたの賛美を高めます。アーメン。

暗唱聖句

賛美は主に忠実なすべての人のなすこと / 主のそばにいる民、イスラエルの子らのなすこと。
ハレルヤ。(詩編 148編14節bc)

黙想タイム

賛美

「つくりぬしを賛美します」 讃美歌 21-6

献金と感謝の祈り 24-1

主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名をあげさせたまえ。御国を来たせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。
我らを試みにあわせず、悪より救いくださいたまえ。
国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

お知らせ

裏面に記載

賛美 祝福 後奏

36 いまでかけよう
八木浩史 牧師

教会学校の課題

- ① 「神の家族」として、調布教会に繋がろう、② 友のために祈ろう、
③ 災害や戦禍の中にある人々のために祈ろう、④ 調布教会創立 80 周年を祝おう。

今月・来月の予定			
6月		7月	
7日	6月のお誕生日会	5日	7・8月のお誕生日会
14日	花の日・子どもの日礼拝	12日	絵本の読み聞かせ
21日		19日	
28日	7月の賛美練習、ね羊さんと御心探索	26日	8月の賛美練習、ね羊さんと御心探索

本日のお知らせ

- ・主日礼拝前半の「子ども説教」への出席をお待ちしています。
- ・本日の分級は、「絵本の読み聞かせ」です。
- ・教会に来られない時は、LINE を利用して家庭礼拝をお獻げしましょう。

メモ

<さんび>

かがや ひ あお **輝く日を仰ぐとき**


1 かがや ひ あお 輝く日を仰ぐとき、
つきほし 月星ながむるとき、
いかすぢ な 雷 鳴りわたるとき、
まことのみ神をおもう。
(*繰り返し) たたえよ、わが心よ、
せい 聖なるみ神を。
たたえよ、わが心よ。
せい 聖なるみ神を。

2 もり とり ね き 森にて鳥の音を聞き、
そびゆる山にのぼり、
たにま 谷間のきよき流れに、
まことのみ神をおもう。 *

3 かみ よ 神は世びとをあいし、
ひとりのみ子をくだし、
よ 世びとの救いのために、
じゅうじか 十字架にかけたまえり。 *

4 あめつち かみ 天地つくりし神は、
ひと 人をもつくりかえて、
ただ 正しくきよきたましい
も 持つ身とならしめたもう。 *

5 まもなく しゅ わが 主イエスはきたり、
われらを迎えたまわん。
いかなるよろこびのひぞ、
いかなるさかえのひぞ。 *



つくりぬしを さんび 賛美します

- 1 つくりぬしを さんび 賛美します。
み前に進み ひれふし、
ささげます 身もたましいも、
きよい主のみ名を かんしゃ 感謝して。
- 2 ぜんのう かみ さんび 全能の神を 賛美します。
あらし なみ 嵐と波を しずめて、
こころみに うちかつか 打ち勝つ力
あたま めく 与える恵みに かんしゃ 感謝して。
- 3 こころ さんび 心こめて 賛美します。
よろこびのせい あ よろこびの声 合わせて、
つよ て 強い手で いつも導く
あがないの神に かんしゃ 感謝して。

